

第Ⅱ期南島原市総合計画後期基本計画 重点施策のテーマ(枠組み)

基本構想に掲げる将来像「これからも 住み続けたい 住んでみたいまち みなみしまばら」を実現するため、市民アンケート結果や私の所信表明、9月9日の第2回審議会における意見を踏まえ、第Ⅱ期南島原市総合計画後期基本計画における重点施策のテーマとして、次の3つを示します。

1. 地域産業支援と雇用創出(事業部会)

少子高齢化と人口減少による産業の衰退や、社会を支える世代の不足が進んでおり、これ以上の人口減少が進まないよう、地域社会を支える世代の確保と、その世代の働く場が必要です。市民アンケートの結果でも、市内での雇用機会の拡充・創出は、「優先的に取り組むべき重点分野」に位置しており、人口減少社会における特に重要な取組としても、「若者の雇用促進」が挙がっています。また、総合計画審議会でも企業誘致の声がありましたので、このテーマとしました。

2. 住み続けたくなる環境づくり(生活部会)

市民アンケートの結果では、ゼロカーボン宣言の認知度が低い反面、多くの方が脱炭素社会に貢献したい意向が見られました。今後のまちづくりの方向性としては「子育てのまち」、「安全・安心なまち」が上位に挙がっています。総合計画審議会でも「健康づくり」の重要性に関する声もありましたので、全ての世代の市民が、これからも安心して健康に住み続けることができるよう、このテーマとしました。

3. 便利な地域のための礎づくり(行政部会)

島原半島の最奥部に位置する本市は、県本土の中で最も交通の便が悪い地域であり、産業や救急医療を支えるための県央地域へつながる高規格道路や市内道路網の整備が必要です。市民アンケート結果でも、道路網の整備や公共交通対策が重要と示されています。また、社会全体のデジタル化と、それによるデジタルトランスフォーメーションが急速に進んでおりますので、このテーマとしました。

委員各位には、この3つのテーマに基づき、「これからも 住み続けたい 住んでみたいまち みなみしまばら」の実現に資する、今後5年間で進めるべき具体的な取組や、市民協働で取り組む内容を議論していただき、審議会として提案していただきたいと思っております。

提案していただいた内容を尊重しながら、第Ⅱ期南島原市総合計画後期基本計画における重点プロジェクトの内容を決定したいと考えています。

南島原市長 松本 政博